

【公益事業の部】

《公益事業 1.》

理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

<事業実施の要旨>

理学療法は、理学療法士及び作業療法士法第2条によって「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう」と定義され、理学療法士は、同法第2条第3項によって「厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう」と定義されている。理学療法士は、医学的リハビリテーションを担う中核的職種として、高齢化社会の進む本県において社会的役割が増大していることから、県民に対する直接的な理学療法の実施と、理学療法士の資質向上によって、県民の医療、保健及び福祉を増進させることを目的として事業を行うものである。

<事業の構成>

当該事業は、次の5つの事業で構成される

1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

- (1) スポーツサポート事業
- (2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業
- (3) 理学療法の普及事業

2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

- (1) 理学療法士の学術技能向上事業
- (2) 学会事業
- (3) 学術・研究普及事業

3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

4. 関連団体との連携および協力に関する事業

5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

<個別事業の内容>

1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

(1) スポーツサポート事業

【趣旨・目的】

本事業は、スポーツ活動における医学的サポートを通じて、子どもから高齢者まであらゆる人が、生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるようサポートすることを目的とする。参加選手が安全に競技に取り組めることができるように、競技種目特性に応じた効果的で医学的サポートを行なうことができる理学療法士が、実際の競技大会等においてサポートすることにより、参加選手が安全に競技等に取り組むことができ、傷害予防や健康増進に寄与する。

【事業内容】

県内で行われるスポーツ大会やレクリエーション活動に参加する選手に対して、希望者に理学療法士としての専門的な知識や技術を基に、スポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業等を行う。また、対象となる選手に質の高いサービスを提供できるように、事前に研修及び実技講習を行う。

【事業例】

●一般スポーツサポート事業

(事業内容)

スポーツ大会等の主催者からの要請を受け、スポーツ大会等におけるサポート事業を行った。具体的な内容として、希望する選手に対しスポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業を行うことにより、参加選手が安心して競技に臨めるようサポートをすることであり、参加選手の傷害予防や健康増進に寄与する。

(対象者)

・各大会等の参加選手等

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○さが桜マラソンサポート事業

《さが桜マラソン2021サポート準備事業(3回開催)》

* 新型コロナの影響により大会がリモート開催となったため、サポートが中止になり事前研修も中止とした

《さが桜マラソン2021サポート》

*新型コロナの影響により大会がリモート開催となったため、サポートを中止とした

○第5回「孔子の里」トレイルランin多久サポート事業

*新型コロナの影響により大会が中止となった

●障がいスポーツサポート事業

(事業内容)

障がいスポーツ大会等の主催者からの要請を受け、大会参加選手に対するコンディショニングサポートを実施する。具体的にはスポーツマッサージやテーピング、ストレッチ、アイシング等のコンディショニングサポート全般である。また、人材育成のため研修会等の開催や中央での講習会へ派遣を行い大会サポートが円滑に行える人材も同時に育成する。障がい者を含めた大会となるため、選手の競技力向上および傷害予防、健康増進はもとより、社会参加の促進にも寄与する。

(対象者)

・各大会等の参加選手等

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○障がい者スポーツサポーター育成事業

人材育成事業(日本理学療法士協会及び日本スポーツ協会主催の研修会や大会等)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

研修会開催

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○ニューミックステニス大会サポート事業

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

(2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業

【趣旨・目的】

本事業は、医療保険制度、介護保険制度に関する情報を収集し、県下会員ならびに関係職種に向け周知させ、その内容を利用者ならび県民へ向け伝達し、正しく運用することとその制度改正の理解を促進する事業である。医療保険制度、介護保険制度といった社会保障制度は、県民医療・保健・福祉の構造的かつ機能的根幹をなし、県民生活に直接影響を与える。そのため、制度改正の把握、理解が必要であるが、各個人が情報を収集し、制度改正の内容を正しく理解していくことは限界があることから、組織的な対応が効果的である。当該事業による情報提供、正しい理解の促進は理学療法士をはじめとする医療関係者の援助となり、ひいては県民の利益に寄与できる。

【事業内容】

制度改正等に関するリハビリテーション関連職種からの問い合わせに対し、九州厚生局佐賀事務所とのやり取りを適宜行い、その内容を周知することにより、各施設で利用者ならびに県民向けに伝達していく。また会員が勤務する病院、施設の各種監査の情報に関して、それを収集し情報発信することにより、医療・介護保険制度の正しい理解と普及の促進していく。

【事業例】

●メール等相談対応事業

(事業内容)

本会ホームページの「お問い合わせフォーム(メール)」等より、リハビリテーション施設基準や診療報酬・介護報酬等に関する相談を受け付ける。お問い合わせ内容については本会の職能局で管理し、関係部署と協働して返答対応する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

メール等への問い合わせに対し、適宜職能局にて対応した

(3) 理学療法の普及事業

【趣旨・目的】

本事業は、広報誌の発行や一般県民向けのセミナー等を通じて、県民の生活や健康に役立つ情報を発信することにより、県民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与することを目的として実施する。この理学療法に関する普及啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する社会的認識を高めてもらうようアピールしていく。

【事業内容】

広報誌の配布や、健康維持・増進や疾病予防目的にセミナー等を開催することを通じて、理学療法の専門的知識及び技術を、広く県民に普及・啓発していく。

【事業例】

●広報誌「ねっつ」発行事業

(事業内容)

掲載内容は、理学療法士の仕事の紹介、「ねっつエクササイズ」と称したテーマ別の運動紹介、各地区で実施されている介護予防事業や地域ケア会議などの情報、リハビリ体験記など、地域住民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与できるような誌面構成とし、市町の保健・福祉関連施設など、地域住民が直接目に触れる機会が多い場所へ配布するほか、本会のホームページ上でも公開する。

(対象者)

・一般地域住民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・広報誌ねっつvol.6を令和3年3月に合計6,000部発行した。

・本会ホームページにて、一般公開している

2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

(1) 理学療法士の学術技能向上事業

【趣旨・目的】

本事業は、理学療法に関する新しい知見、技術の研究開発や理学療法士の専門性を高めるキャリアアップ支援を通して、理学療法の継続的な品質向上に努め、誰もがより適切な理学療法ならびにリハビリテーションを享受できるように取り組む事業である。医学は日進月歩であり、理学療法士は、医療法第1条の2ならびに4に定められているとおり、医療を受ける者に対し、良質かつ適切な医療を行うよう努めなければならない。そのため、理学療法士が専門職として県民の負託に応えるためには常に最新の医療技術の修得に努める義務があるが、医療技術の進歩を理学療法士個人の努力で網羅するには限界がある。そこで本会は本事業を通して、理学療法学の振興と理学療法士が良質かつ適切な医療を提供できるよう研修会を開催し、理学療法士が常に最新でより専門的な治療技術および知識の習得ができるよう支援する。

【事業内容】

研修会を、新人向けや疾患別・専門領域別に企画し、開催・運営する。我々リハビリテーション専門職は、所属する施設により担当する疾病や、障がい像は多種多様である。さまざまな人格、社会的背景を持った対象者と直接触れ合う専門職として、高度な知識と技術、さらには、豊かな人格をそなえる必要がある。適切なサービスと患者権利擁護の背景から、患者や利用者を中心として多職種がチームを形成し、対象者にとって有益な医療や介護が提供されねばならず、他職種を含めより多くの参加の機会を確保することで、学際的隣接領域の相互理解と医療・介護連携を効率的・効果的に図ることが可能となる。

【事業例】

●新人教育プログラム事業

(事業内容)

国家試験に合格した3年以内の新人理学療法士が主な対象者である。キャリアアップ事業に位置付け、基本的な知識習得を基礎に、理学療法士の質を向上させ利用者にとって有益な理学療法のあり方を学ぶことにより、県民の保健医療、福祉の向上に寄与することを目的とした。開催するプログラムは、公益社団法人日本理学療法士協会が定めた全国統一のテーマで行う。

(対象者)

・卒業後3年以内の理学療法士が主な対象で、本会会員および他県理学療法士も含む。

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○1回目 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○2回目 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○3回目

日時:令和3年1月10日(日) 9:20~17:00 及び17日(日)9:20~17:00

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(各6科目の2日間 計12科目)

1月10日	A-1:理学療法と倫理	講師:八谷 瑞紀 氏(西九州大学)
	A-2:協会組織と生涯学習システム	講師:大串 卓也 氏(有島病院)
	A-3:リスクマネジメント	講師:靱木 丈史 氏(白石共立病院)
	A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む)	講師:小栗 隆太 氏(山口病院)
	A-5:理学療法における関連法規	講師:梅崎 政博 氏(西田病院)
	C-2:運動器疾患の理学療法	講師:田中 泰光 氏(にしかわ整形外科クリニック)
1月17日	B-1:一次救命処置と基本処置	講師:村中 進 氏(鶴田運動機能回復クリニック)
	B-2:クリニカルリーズニング	講師:辻 晃剛 氏(さかえまち整形外科)
	B-4:症例報告・発表の仕方	講師:竹井 和人 氏(医療福祉専門学校 緑生館)
	C-3:内部障害の理学療法	講師:福井 啓介 氏(宇都宮病院)
	D-2:生涯学習と理学療法の専門領域	講師:圓城寺 章史 氏(ひらまつ病院)
	E-2:コーチングとティーチング	講師:井原 雄彦 氏(ひらまつ病院)

参加者:101名(会員99名、他県会員2名)

受講料:会員:無料、他県会員:500円/科目、非会員:10,000円/科目、他職種:500円/科目

○4回目

日時:令和3年2月17日(水) 19:10~21:20

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(科目の2科目)

C-3:内部障害の理学療法	講師:大坪 雅弥 氏(白石共立病院)
C-4:高齢者の理学療法	講師:岩永 隆 氏(特別養護老人ホームくにみ)

参加者:46名(会員29名、他県会員16名)

受講料:会員:無料、他県会員:500円/科目、非会員:10,000円/科目、他職種:500円/科目

●専門領域研修事業

(事業内容)

より専門的な知識・技能の習得にむけた方策支援を目的として、骨・関節系、神経系、内部障害系、地域リハビリテーション系、小児系など、各専門領域別による研修会や技能講習を実施する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○スポーツ理学療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○運動器理学療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○呼吸理学療法研修会

日 時:令和3年2月7日(日)

場 所:オンライン

内 容:肺がん、がん周術期の理学療法

講 師:井上 順一郎氏(神戸大学医学部附属病院)

参加者:34名(会員32名、他県会員2名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

○小児理学療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○心血管理学療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○神経理学療法研修会

日 時:令和2年12月20日(日) 9:30~12:40

場 所:オンライン

内 容:高次脳機能障害に対する理学療法

講 師:松崎 哲治 氏(麻生リハビリテーション大学校)

参加者:30名(会員 29名、他職種「作業療法士」1名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

○地域理学療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○徒手療法研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○リハスタッフのための介護技術研修会(PT・OT向け研修会)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

●各地区症例検討会事業

(事業内容)

中部広域部、鳥栖広域部、伊万里有田広域部、杵藤広域部、唐津東松浦広域部の県下5地区内でリハビリテーション関連や隣接領域の研修会および症例検討会を開催し、その地区に従事するリハビリテーション関連職種の参加機会を確保することで、近隣の病院・施設の多職種による医療・介護連携を効率的に図ることも目的とする。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

(中部広域部)

<第1回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

<第2回目>

日 時:令和3年3月10日(水)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

参加者:53名(会員 53名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

(鳥栖広域部)

<第1回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

<第2回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

(杵藤広域部)

<第1回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

<第2回目>

日 時:令和3年2月16日(火)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

参加者:32名(会員 32名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

(伊万里有田広域部)

<第1回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

<第2回目>

日 時:令和3年2月19日(金)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

参加者:45名(会員 44名、他職種「作業療法士 1名」)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

(唐津東松浦広域部)

<第1回目>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

<第2回目>

日 時:令和3年1月22日(金)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

参加者: 50名(会員 48名、他職種「作業療法士」 2名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

(2)学会事業

【趣旨・目的】

本事業は、科学的根拠に基づく研究の成果を一般に公開し、テーマに対して多面的・多角的に討議を興す機会として位置付けられる。対象は会員のほか非会員の理学療法士や他職種とし、県民公開講座では一般県民も含まれる。発表演題は、学術の専門家による査読を経て採択される。この学術活動をもって上位事業を具体化し、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の保健、医療、福祉の向上に寄与することを目的としている。県民公開講座では、一般県民の健康維持・増進に寄与することを目的にテーマ、講師を選定する。

【事業内容】

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。一般演題発表、教育講演の他に、県民公開講座など一般県民が無料で参加できる講座によってプログラムされる。一般演題ではそれぞれのセッションに座長をつけ、適切な進行と質疑応答により演題に対して理解が深められるよう促す。

【事業例】

●学会事業

(事業内容)

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。学会では学会長、準備委員長はじめ事務局、学術局、運営局による組織を構成し学会の企画、広報、運営、事務処理等をそれぞれの担当者が行った。内容としては、県民公開講座、教育講演の講座の他、一般演題発表として口述発表、ポスター発表を行う。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生。「県民公開講座」に関しては一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○第29回佐賀県理学療法士会学会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため来年度へ延期した

(3)学術・研究普及事業

【趣旨・目的】

理学療法の臨床活動において、臨床的な判断を“経験則”だけに基づいて行うのではなく、基本的な理論や質の高い臨床研究による検証結果であるエビデンス(evidence)に基づき行うことによって、安全で効果的な理学療法が実践可能となる。その専門性の検証のためにも「研究活動」は欠かせないものであり、佐賀県内の理学療法士による研究論文、症例検討ならびに有識者からのトピックス等を学術誌に掲載することにより、佐賀県内の理学療法士間で情報の共有を図り、これらを対象者に還元するとともに、佐賀県内の理学療法士の知識及び技術向上に繋げることを目的とする。

【事業内容】

県内の理学療法士による研究論文、症例検討、有識者によるトピックス等を掲載する学術誌の発行を行う。なお、学術誌の発行に当たっては、投稿規程に則って行い、学術誌委員会を設置した上で査読者による査読審査を経て掲載する。投稿者は本会会員および佐賀県下の理学療法士養成校における卒業研究論文で推薦できるものとする。

【事業例】

●学術誌発行事業

(事業内容)

学術誌部会を概ね2ヶ月に1回開催し、論文原稿の公募、査読者との連絡・調整、投稿原稿の取りまとめ、発行調整等を行

った。掲載内容は、一般投稿論文、佐賀県理学療法士会学会優秀演題論文、短編論文等である。発行部数は1,300部とし、佐賀県内会員所属全施設及び公益社団法人日本理学療法士協会など、約310施設へ発送するほか、筆頭著者には別刷りを30部無料進呈した。また、本会ホームページに専用のバナーを設け、閲覧ができるように公開することとしている。

(対象者)

・佐賀県理学療法士会会員ならびに投稿者

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・学術誌「理学療法さが」の発行

ISSN 2188-9325

Vol.7.No.1 2021(令和3年2月発行)

原著論文 8題、短報 2題

印刷部数:1300部

送付先:佐賀県理学療法士会会員、日本理学療法士協会、その他関係機関

3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

【趣旨・目的】

本事業は、これから理学療法士を目指す者が、将来にわたって理学療法士としてふさわしい適性を身につけることができるように支援する事業である。理学療法士は、何らかの原因により心身の機能や日常生活動作能力に障害をもつ者を対象とするため、単に技術論のみで対処するのではなく、心理面や社会面にも配慮した対応ができる資質を身につける必要がある。したがって、理学療法士を養成する教育機関と本会が連携し、学生が臨床実習先で必要な知識を習得し、理学療法に関する適切な判断が行える素地をつけることができるための支援を目的とした事業である。本事業は理学療法士を目指す人材の育成にかかわるものであり、またその育成のあり方が将来にわたって医療・福祉の質に直接反映されることから、本会にとって重要な事業と位置付けている。

【事業内容】

養成校から臨床実習者を受け入れる理学療法士に対し、臨床現場での教育の質を担保する事業や、卒前教育として基本的な臨床技能を客観的に評価する方法として導入されているOSCE(Objective Structured Clinical Examination)へ協力する事業等を展開する。研修会の内容は講座のみならず、ワークショップやグループワーク等を行い、情報の共有化に努める。

【事業例】

●臨床実習指導者研修事業

(事業内容)

臨床実習の位置付け、指導者側である臨床の理学療法士の役割、学生理解、教育目標から教育評価、問題解決方法と臨床指導方法等広範にわたり、臨床理学療法士が適切に安心して学生指導に従事できるよう支援する内容で実施した。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)

A日程:令和2年10月3日(土)・4日(日) 場所:西九州大学

B日程:令和2年11月21日(土)・22日(日) 場所:医療福祉専門学校 緑生館

C日程:＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

講師:片瀨宏輔氏、峰松一茂氏、椋野智治氏、梅崎政博氏、坂井沙織氏、初木丈史氏、大川裕行氏、鬼塚真実代氏、竹井和人氏、磯邊恵理子氏

参加者: A日程 42名(会員 39名、非会員の理学療法士 1名、他職種「作業療法士 2名」)

B日程 45名(会員 37名、非会員の理学療法士 2名、他職種「作業療法士 6名」)

受講料:会員:無料、日本理学療法士協会非会員の理学療法士:20,000円、他県会員:無料、作業療法士:無料
非会員、他県士会員、作業療法士は別途資料代として1000円

○養成校情報交換会

日時:令和3年3月11日(木) 19:00~21:00

場 所:オンライン

内 容:県士会及び養成校の来年度事業計画について

九州ブロック臨床実習関係担当者会議の報告

中央講習会について

都道府県講習会実施報告及び来年度の計画について

参加者:16名(佐賀県理学療法士会11名、緑生館1名、西九州大学2名、武雄看護リハ2名)

4. 関連団体との連携および協力に関する事業

【趣旨・目的】

超高齢化社会を迎え、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で自立した生活をおくることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。そのためには医療や介護に携わる多職種間の連携が必要不可欠である。リハビリテーション関連団体との共同企画による医療・保健・福祉の発展に寄与する研修会、人材育成等の事業を通して、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする。学術技能向上の事業と類するが、リハビリテーション関連職種との共同事業という視点から一つにまとめた。

【事業内容】

地域や職場で医療や介護に従事する多職種向けに研修会を開催する。研修内容は、地域包括ケアシステムの構築を見据え、多職種の人材育成に寄与できるようなものとし、リハビリテーション医学や介護予防、訪問リハビリテーションなどの講座に加え、実技指導やグループワーク等を行うことにより、より効果的で実践的な介入が可能となるような内容とする。

【事業例】

●リハビリテーション介護技術研修事業

(事業内容)

職場や地域で介護に関わる業務に従事されている専門職の方々を対象に、介護技術に関する講演や実技指導等を行う(対象者)

・医療・介護に従事している専門職(看護師、介護福祉士、ヘルパー、作業療法士、言語聴覚士など)

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○第1回リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年1月21日(木) 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上移動・寝返り・起き上がりのサポートと福祉用具活用」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)

参加者:20名(会員 4名、他職種 16名)

「作業療法士 2名、介護福祉士 9名、看護師 2名、介護支援専門員 1名 その他 2名」)

受講料:無料

○第2回リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年2月12日(金) 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「立ち上がり・移乗動作のサポートと福祉用具活用」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)

参加者:13名(会員 5名、他職種 8名)

「作業療法士 4名、介護福祉士 2名、看護師 1名、その他 1名」)

受講料:無料

○第3回リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年3月12日(金) 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上や車椅子上での姿勢づくりと整え方」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)

参加者:16名(会員 2名、他職種 14名)

「作業療法士 4名、介護福祉士 7名、看護師 2名、その他 1名」)

受講料:無料

●診療報酬・介護報酬研修事業

(事業内容)

医療・県下の医療機関、介護保険関連施設、教育機関等に従事している会員ならびに関係職種に向け、医療保険制度、介護保険制度を正しく理解できるよう、研修会ならびに情報交換会を開催する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○診療報酬・介護報酬改定研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

●地区別研修会事業

(事業内容)

・地域包括ケアシステムの構築推進にあたり、各地区の特性に応じた対応ができるように、理学療法士はじめリハビリテーション関連職種の資質向上を図り、地域住民への健康増進、介護予防に資する人材育成のための研修会を開催する。

(対象者)

佐賀県理学療法士会会員、リハビリテーション関連職種

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○中部広域部研修会

日 時:令和3年1月29日

場 所:オンライン

内 容:テーマ『介護予防・日常生活総合事業と佐賀市の取り組み～通所型サービスCを中心に～』

講師:佐賀市役所 高齢福祉課 山本氏

『これからの地域で生きる理学療法士の役割』

講師:医療法人 大和正信会 しょうぶ苑 理学療法士 畠山崇文氏

参加者:46名(会員 46名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料、学生:無料

○杵藤広域部研修会(多職種研修会)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○唐津東松浦在宅医療・介護多職種研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

●職域別研修会事業

(事業内容)

・高度急性期、急性期、回復期、生活期など、職域別の特性に応じた対応ができるように、理学療法士はじめリハビリテーション関連職種の資質向上を図り、地域住民への健康増進、介護予防に資する人材育成のための研修会を開催する。

(対象者)

佐賀県理学療法士会会員、リハビリテーション関連職種

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○日本理学療法士協会管理者初級研修会及び職域別研修会

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○管理者研修会

日 時:令和2年11月7日(日曜日)

場 所:オンライン

内 容:講義『管理者の要件と必要な視点』

講 師:大工谷 新一氏(日本理学療法士協会 理事)

シンポジウム

『県内の施設における管理状況について(教育管理を中心に)』

発表者 江頭修司 氏 (佐賀リハビリテーション病院)

野方徳浩 氏 (済生会唐津病院)

棕野智治 氏 (佐賀整肢学園からつ医療福祉センター)

参加者:32名(会員:30名 他県士会:2名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

【趣旨・目的】

県民に対する理学療法啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する認識を向上させることを目的とする。さらに介護予防、ロコモティブシンドローム予防など、県民の疾病予防、健康増進のための体験活動等を通じ、県民のリハビリテーションについての知識向上を図り、県下の保健・医療・福祉の質的向上を目指すものである。

【事業内容】

イベント会場や理学療法士が勤務する職場において、理学療法の業務内容や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や理学療法に関する体験活動、相談事業を通じて、理学療法士とその活動について多くの県民に知っていただく。

【事業例】

●職場体験事業

(事業内容)

理学療法に関する普及活動によって県民の健康増進ならびに障害や疾病予防に貢献できる次世代の理学療法士の育成に寄与することを目的とした。具体的には、県内の高等学校(公立・私立)へ案内文やパンフレットを送付し、希望する高校生を対象に県内の医療・福祉施設に協力を得て職場体験を実施し、リハビリテーションおよび理学療法の啓発活動を行う

(対象者)

・県内の高校生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○職場体験事業

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

●理学療法週間イベント事業

(事業内容)

理学療法や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や、体組成計での計測、運動機能評価などを体験してもらう。体験された方へ評価結果などをフィードバックすることにより、県民の生活習慣病や介護を要する状態とならないための予防、積極的な健康づくり運動への意識高揚を目指す。

(対象者)

・一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○杵藤広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

○伊万里有田広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した

●**地区イベント参加事業**

(事業内容)

地域で行われている行事に参加し、理学療法士の啓蒙活動及び介護予防についての普及・啓発活動を行う。

(対象者)

・一般住民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○**白石町ぺったんこ祭介護予防健康増進キャンペーン**

*祭りが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった

○**鯨の門まつり(中部広域)**

*祭りが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった

○**鳥栖広域部 介護予防・健康増進キャンペーン**

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○**唐津東松浦広域部 介護予防・健康増進キャンペーン**

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○**健康運転安全講座**

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

◇公益目的事業について

【公益事業 1.】理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

事業名	事業例
<p>1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業</p>	<p>(1) スポーツサポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般スポーツサポート事業 ・障がい者スポーツサポート事業
	<p>(2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業</p>
	<p>(3) 理学療法の普及事業</p>
<p>2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業</p>	<p>(1) 理学療法士の学術技能向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人教育プログラム事業 ・専門領域研修事業 ・各地区症例検討会事業
	<p>(2) 学会事業</p>
	<p>(3) 学術・研究普及事業</p>
<p>3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学術誌発行事業 ・臨床実習指導者研修事業
<p>4. 関連団体との連携および協力に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション介護技術研修事業 ・診療報酬・介護報酬研修事業 ・地区別研修会事業 ・職域別研修会事業
<p>5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験事業 ・理学療法週間イベント事業 ・地区イベント参加事業

【その他の事業(相互扶助事業等)】

1.会員の福利厚生に関する事業

○会員の交流援助

(事業内容)

ゲーム大会、スポーツ大会等を通して会員の交流を目的とし、開催をサポートする

(対象者)

・会員・その他

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○杵藤広域部

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○中部広域部

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○鳥栖広域部

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○伊万里有田広域部

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

○唐津東松浦広域部

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

2.機関誌「広報はがくれ」の発刊

(事業内容)

各種研修会等の事業報告や事業計画等について年3～4回で発行する

(対象者)

・会員等

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

年4回、各会員向けに配布した。発行部数:1400部

3.理学療法およびリハビリテーションに関する調査研究事業

(事業内容)

理学療法ならびに理学療法士が関係する医療保険分野や介護保険分野の領域を中心に、リハビリテーション関連職種の就業実態、リハビリテーションおよび理学療法の業務内容、リハビリテーションが関わる疾病構造やその種類、労働環境や労働条件、診療報酬や介護報酬に関する算定実績等の調査を実施する。調査された結果をもとにリハビリテーションを県民に提供するための問題点やあり方について検討する。

(方法)

本会会員の施設宛にアンケート内容を電子媒体にて配信し、回収作業を実施アンケート結果を基に分析を行う

(対象者)

リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)およびその所属する施設

(公表方法)

調査結果を取りまとめたうえで、機関誌「広報はがくれ」への掲載や研修会において会員等へ公開する。

(事業報告)

・2021年1月にアンケート内容配布し、集計作業を行った

・集計結果を分析し、会員向け機関紙「はがくれVol.125」に掲載した

【管理業務】

《定時総会の開催》

日 時: 令和2年6月21日(日曜日) 10:00~12:00

開催方法: オンラインにて開催

《臨時総会の開催》

日 時: 令和3年1月24日(日曜日) 10:00~12:00

開催方法: オンラインにて開催

《理事会開催》

- 第1回 理事会 令和2年5月19日
- 第2回 理事会 令和2年7月14日
- 第3回 理事会 令和2年9月15日
- 第4回 理事会 令和2年11月10日
- 第5回 理事会 令和2年12月18日
- 第6回 理事会 令和3年2月10日
- 第7回 理事会 令和3年3月15日

《各局会議》

各局において、1~3回程度開催した

《事務局・事務部》

- (1) 会員管理に関すること
- (2) 会員名簿の管理に関すること
- (3) 公益社団法人に関する事務手続きに関すること
- (4) 総会、理事会などの諸会議の準備・調整に関すること
- (5) 他関係団体及び行政との連携・調整に関すること
- (6) 他都道府県理学療法士会及び関連諸団体のニュース・機関誌等の保管に関すること
- (7) 定款・定款細則及び諸規程の運用に関すること
- (8) 公文書・報告書などの発送・受領及び議事録などの保管・管理に関すること
- (9) 公印の管理に関すること
- (10) 弔・祝電など適切な慶弔行為の実施に関すること
- (11) 公益社団法人日本理学療法士協会(以下、「協会」)事務局及び九州ブロック会等の連携に関すること
- (12) 物品管理に関すること
- (13) 個人番号の取り扱いに関すること
- (14) その他

《事務局・財務部》

- (1) 会費納入状況に関すること
- (2) 通帳管理、予算執行、複式簿記管理、税理士と連携し決算諸表作成に関すること
- (3) 出金・入金伝票及び命令簿等の管理に関すること
- (4) 必要経費支払い、各部局事業への費用調達、講師謝礼金等の納税に関すること

《事務局・福利厚生部》

- (1) 会員相互の親睦に関すること
- (2) 他都道府県士会との親睦に関すること
- (3) この法人の事業執行に係る保険制度の整備に関すること
- (4) 他関係団体との親睦に関すること
- (5) その他

《事務局・広報部》

- (1) 広報・機関紙、の企画・編集・作成及び発刊・保管に関すること
- (2) この法人の発刊物、その他の発送に関すること
- (3) 広報活動に必要な内外情報の収集に関すること

- (4)一般への広報活動に関すること
- (5)ホームページの管理に関すること
- (6)会員へのメール配信に関すること
- (7)公益目的事業のお知らせの更新に関すること
- (8)各種研修会情報の更新に関すること
- (9)会員への情報発信に関すること
- (10)協会刊行物の発送・保管に関すること
- (11)その他

《役員等の関連する会議、その他》

- 【全国】 公益社団法人日本理学療法士協会代議員総会
公益社団法人日本理学療法士協会組織運営協議会・事務局長会議へ出席した
- 【九州】 九州ブロック会士会長会議へ出席した
- 【県内】 関係団体総会、会議へ出席した

《学術、教育関連業務、会議出席他》

- 【公益社団法人日本理学療法士協会との連携】
 - ・『包括的会員管理システム』への対応:生涯学習履修ポイント管理
 - ・本会主催研修会情報の登録
 - ・研修会参加者名簿の送付 他
- 【九州】 九州ブロック会学術教育担当者会議・九州ブロック会臨床実習関係者会議へ主席した

《自治体及び日本理学療法士協会からの推薦及び派遣》

- 【自治体】 地域ケア会議、サロン、自治体が主催する会議等への人員推薦
- 【日本理学療法士協会等】
職域別研修会、災害関係研修会、理事育成研修会、訪問リハビリテーション関連その他等への推薦及び派遣

《40周年記念事業》

- *新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典開催は中止とした
- 40周年記念誌を発行した

《委員会活動について》

《表彰委員会》

- (1) 各種表彰に関する候補者の選考
日本理学療法士協会名誉会員の推薦について、田中耕作氏を推薦
- (2) 各種表彰の準備と挙行 他

《倫理委員会》

- (1) 倫理規定の策定、啓発活動 他

《法規検討委員会》

- (1) 定款、定款細則等の各規程の検討
代議員制度導入に伴い、定款及び細則等の検討を行った
- (2) 法人組織維持・管理に関すること。
- (3) その他

《選挙管理委員会》

- (1) 役員選挙の管理・運営 他
代議員制度の導入及び令和3年度の役員選挙に伴う準備を行った

《政策検討委員会》

- (1) 政策の提言
- (2) 他団体との政策調整推進
- (3) 日本理学療法士協会及び九州ブロックの会議等への出席した

《災害対策委員会》

- (1) 災害関係の研修会への派遣
- (2) 県、自治体や佐賀リハビリテーション3団体協議会等との災害に関する連携
- (3) 日本理学療法士協会及び九州ブロックの会議等への出席 他